

令和5年度

自己評価表

東京法律公務員専門学校杉並校は、高等教育機関として在学生在がより良い教育を受けることができるよう学校運営、教育活動について常に改善を図り、教育の質の向上と保証を図るために自己点検・自己評価を行いました。以下に令和5年度の結果を報告いたします。

1. 学校法人立志舎の沿革

- 1979年 東京IT会計専門学校が学校法人として新たにスタート。コンピュータ教育を導入。
- 1981年 全国高等学校簿記選手権大会を学園が主催。第4回大会から文部省の後援を頂き、簿記の甲子園として広く親しまれる。
- 1983年 公認会計士試験、税理士試験に専門課程在學生から全国最年少合格が誕生。
日本の専門学校で初めて公務員コースを設置。1年目に早くも151名の現役合格者を輩出。
- 1988年 情報管理学科を設置。情報処理分野の国家・検定試験においても次々と快挙を成し遂げる。
- 1989年 大阪IT会計専門学校、大阪法律専門学校開校。
- 1990年 日本スクールオブビジネスが開校。マルチメディア、スポーツ、トラベル、医療などの総合ビジネス学園として、新たな一步を踏み出す。
- 1993年 公認会計士試験11年連続専門課程現役合格達成。
- 1994年 東京法律専門学校より、司法試験史上初の専門学校生現役合格者が誕生。
- 1995年 専門課程在學生から経済産業省ソフトウェア開発技術者試験79名、基本情報技術者試験462名現役合格。情報処理分野においても名門の地位を確立。
- 1996年 経済産業省において、25歳未満の人が受験できる最上級レベルの経済産業省テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験に専門課程在學生から2名の現役合格者を輩出。
- 1997年 東京IT会計専門学校杉並校、東京法律専門学校杉並校、東京IT会計専門学校名古屋校、東京法律専門学校名古屋校開校。
- 1998年 日本スクールオブビジネス21、東京IT会計専門学校仙台校、東京法律専門学校仙台校開校。
公認会計士試験、税理士試験において専門課程在學生から全国最年少合格を輩出。
- 1999年 東京では11年ぶりの私立の新設高校として、立志舎高等学校を開校。
専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2001年 簿記大会にIT部門を新設。全国高等学校IT・簿記選手権大会となる。
- 2002年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格。さらに、IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。
- 2003年 専門課程在學生から司法試験現役合格。東京IT会計法律専門学校横浜校、東京IT会計法律専門学校大宮校開校。専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2004年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格(3年連続)含め6名現役合格。公認会計士試験、経済産業省情報セキュリティアドミニストレータ試験、テクニカルエンジニア(ネットワーク・データベース)試験、ソフトウェア開発、基本情報技術者試験等IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。
- 2005年 京都IT会計法律専門学校、大阪IT会計専門学校天王寺校、大阪法律専門学校天王寺校開校。

- 2006年 日本動物専門学校、専門学校日本動物21開校。全国IT簿記選手権大会にFE部門を新設。専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。
- 2007年 東京IT会計法律専門学校千葉校、大阪動物専門学校開校。
- 2008年 専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。経済産業省高度情報処理技術者試験に34名現役合格等の合格実績をあげる。大阪動物専門学校天王寺校開校。
- 2009年 名古屋動物専門学校開校。経済産業省高度情報処理技術者試験に36名現役合格等の合格実績をあげる。
- 2010年 国税専門官試験26年連続現役合格達成。
- 2014年 立志舎グループの各校が文部科学大臣認定「職業実践専門課程」設置校になる。
- 2020年 立志舎グループの各校が高等教育の修学支援新制度の対象校として認定される。
- 2021年 東京法律公務員専門学校杉並校に校名変更。
- 2022年 専門学校日本動物21、日本動物専門学校、名古屋動物専門学校、大阪動物専門学校、大阪動物専門学校天王寺校が、愛玩動物看護師法（令和元年法律第50号）第31条第2号に基づく愛玩動物看護師養成所の指定を各都府県知事から受ける。
- 2023年 公認会計士試験現役合格31名、税理士試験現役合格4名
 法科大学院（ロースクール）に司法試験制度改革以来17年連続現役合格
 経済産業省高度情報技術者試験（データベース・ネットワーク・情報処理安全確保支援士・プロジェクトマネージャ）現役合格41名
 応用情報技術者試験現役合格83名
 基本情報技術者試験現役合格415名
 総合旅行業務取扱管理者試験現役合格23名
 国内旅行業務取扱管理者試験現役合格103名（入学後半年合格89名）
 国家公務員一般職（大卒程度）・地方公務員上級・中級等現役合格1,006名、
 公務員初級等現役合格4,884名／警察官・消防官・自衛官現役合格3,132名
 （2023年3月卒業生 高校卒業生対象専門課程／一次筆記合格のべ）
 民間企業就職率99.47%（2023年3月卒業生 高校卒業生対象専門課程）

2. 学校の教育目標および特色

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき人格の陶冶と法律、行政およびビジネスに関する専門知識と幅広い一般教養を身につけ、広く社会に貢献できる人材の育成を目的とする。

本学の特色は、国家公務員・地方公務員の行政職、および警察官・消防官・自衛官等の公安職に毎年多くの学生が採用されていることと、民間企業就職率が高いことである。これは本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によるところが非常に大きい。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
ロ. 学校における職業教育の特色は何か(特色は設けているか?)	④ 3 2 1
ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

開学以来、「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入したことにより、明るく楽しい学園生活と公務員合格実績と民間企業就職実績が両立している。また「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって取り組んでいる。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職および明るく楽しいキャンパスライフの三本柱を追求することにより「学生から信頼され支持される学園づくり」が実現すると考えている。

情報システムについては、学務システム(入試システムおよび学籍管理システム)、経理システムを

個々に運用し、インボイス制度に対応している。就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。在学生への求人情報の提供、学校が取りまとめる求人への申込をオンライン化し、「民間就職支援ポータルサイト」として運用している。また、学務システムは、仮想プライベートネットワーク（VPN網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。

(3). 教育活動

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
チ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
リ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

「ゼミ学習」は知識をより確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション力などの人間性をも涵養している。教育課程編成委員会を年2回開催し、外部委員の意見を参考に、カリキュラムに反映させている。また、授業運営の適否を判断するために、学生による授業評価アンケートを実施して、授業システム見直しのための資料として活用している。職業実践専門課程の認定を受け、企業、官公庁等と連携した実践的な演習を行っている。令和元年度よりGPA算定をするため、システムを改修し導入した。

(4). 学修成果

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ロ. 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ハ. 退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

例年、新入生就職セミナーをはじめ進路決定ガイダンス、官公庁説明会や学内就職セミナーを行っている。

学科・コースごとに目標とする試験を明確にして過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立てゼミ学習で授業を進めている。その結果が成果となりあらわれている。また、学園内各校と定期的に合格率向上を図るための会議を開いている。

退学者を出さないように常に担任が学生に声をかけるようにしている。各クラスで毎日「日常コミュニケーションチェック表」を記入し、学生の変化を確認している。また、ゼミ学習を通し友人を作れるように気を配っている。担任以外にも相談できるように学生相談室を設置している。匿名での電話でも相談できるようにしている。無断欠席の学生には担任から電話連絡し長期欠席の学生が出ないよう努めている。

(5). 学生支援

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
ト. 保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

今年度より民間就職支援ポータルサイトを立ち上げ、求人票のリアルタイムの閲覧、エントリーの一元化、就職部と学生の連絡手段の新設により学生が就職活動をスムーズに行えるようにした。

保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。学生相談室は匿名での電話相談にも応じている。

本学の特別奨学生試験や各種特待生制度は、貸与ではなく給付である。令和2年度よりスタートした高等教育の修学支援新制度対象校として東京都により確認された。引き続き令和6年度も確認校となる。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
ロ. 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

① 課題

危機管理マニュアルを法令にしたがって見直していく必要がある。

② 今後の改善方策

危機管理マニュアルを法令にしたがって見直す。

③ 特記事項

ロビー、実習室、教室など校舎全体でWi-Fiが使える環境が整っている。

防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。また、自衛消防隊を組織している。

(7). 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
ハ. 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

公務員合格者一覧・民間就職一覧においては信憑性を確保するために本人の了承を得て採用試験名または企業名・氏名・出身校名を載せており、志望者や保護者の方の判断にも役立つ内容となっている。本学のホームページは、スマートフォンにも対応しているので簡単に情報が入手できる。また、LINE、X（旧：Twitter）、Facebook、YouTube、Instagramを利用した情報提供を行っている。

民間就職については正社員採用であることにこだわって就職指導している。入学者に対するアンケートを実施し、その結果、卒業生の活躍が入学にあたりとても参考になったという意見が多かった。

法人単位での財務情報の公開体制を採っており、学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1

ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。

(9). 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④	3	2	1
ニ. 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

法令遵守推進管理者を置き、法令遵守の推進を図っている。また、例年外部講師を招いて人権研修を実施している。今年度も2月にオンラインで研修を受講する予定である。定期的に情報セキュリティ研修を実施する必要がある。

学生の個人情報を利用する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た上で個人情報を取り扱っている。また、平成30年12月に情報セキュリティ研修を実施した。

自己点検・自己評価については、学校関係者評価委員会で報告し評価をいただき、その結果をホームページ上で公開している。

(10). 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1

① 課題

地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を実施していく必要がある。

② 今後の改善方策

地域社会への貢献として捉え、学生の参加、協力も積極的に考慮していく。

③ 特記事項

地域との連携、交流、諸外国の学校などとの連携、社会問題についての啓蒙などが社会貢献となり、また学校の発展につながるという観点で、毎年杉並消防署が実施する、「自衛消防訓練審査会」に教職員が参加している。また、地元商店街が主催する「高円寺フェス」には学生応援団、ブラスバンドが参加するなど、地域活性化に協力している。今年度は、新型コロナの影響により「自衛消防訓練審査会」は中止となり、「高円寺フェス」は規模を縮小して実施となった。またクールビズや、ゴミの分別処理の徹底など、学校全体で省エネ、エコ活動の取り組みなどを行っている。

学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握し評価している。学生の校舎外の近隣清掃は、近隣住民より評価を得ている。